

谷村第一小学校・都留文科大学附属小学校統合 保護者、住民等説明会概要

日時 令和8年2月17日（火）午後7時～午後8時

場所 まちづくり交流センター4階大ホール

参加者：谷一小学校区12人 附属小学校区19人 計31人

教育委員会出席者

大竹教育長、亀田教育次長、渡邊学校教育課長、相川学校教育課長補佐、矢嶋教育企画推進室長、三浦指導主事、河野学校教育担当リーダー、小坂教育企画推進室リーダー

教育委員会から統合準備委員会で審議されてきたスクールバスの運行、統合後の学校の名称等について説明後に質疑応答が行われた。

質疑応答

（質疑）スクールバス、帰り（下校）はどうか？

（応答）基本的には、乗る場所と同じ場所。帰りは学年により時間が異なるため、2便、3便を考えている。現在運航している学校も、2便、3便設定している。

（質疑）学童はどのようになるか？

（応答）統合後も当面の間は存続の予定。ただし、場所については近隣に変更になる可能性もある。

（質疑）学童をそのままの事だが、校舎の学童部分だけが開いていることになるか？そうすると、バスを降りてから教室まで、防犯上のことはどうか？

（応答）旭小では、バス到着時間に学童のスタッフが迎えに行っていた。この場で申し上げられないが、同じような形になるかわからないが、安全は確保したい。

（質疑）スクールバスは、児童が休む場合はどこかに連絡するのか？

（応答）現在、バス通学を導入している学校では、休みの連絡は、スクリレを使っており、それが入ると学校よりバス会社に連絡する体制となっている。

（質疑）バスについて、児童がバスに乗った情報はどうやって知ることができるのか？

（応答）学校についての段階で把握できるが、乗ったか乗らないかをタイムリーに確認することは難しいと思われる。ただし、統合後しばらくは教職員がバスに同乗し、安全対策をとる。その間は、乗っている先生方がすぐに把握できる。

（質疑）ルートはこれから決めると思われるが、一番最初の子どもが乗る時間はどうか？つく時間はどうか？

（応答）細かい時間はバス事業者と調整するため、まだ定まっていない。ただし、8時過ぎには学校につくように考えている。また、バスに乗ってから学校までそこまで時間がかからないと思われる。

（質疑）要望だが、権現原団地が数年で1人になる。団地の方へもバスの乗り入れを

考えていただけるか？

(応答) 検討したが、現状ではマイクロバス以上のサイズの車両での運行を想定していることから、道が狭いため県道沿いをルートとして設定している。ただし、今後児童数が減る中で、小さい車両での運航となれば、将来的には権現原までという考えもある。

(質疑) どれ(いつ)ぐらいになるか？

(応答) 権現原から谷一小に通っている子どももいる。その子どもたちと一緒に登校班となる。利用する子どもが複数名いれば、設定された乗降場所まで徒歩で行ってもらいが、登校班が一人になってしまう場合は話し合いたい。

(質疑) 来年度の附属小でバスに乗っていく生徒は、何人いるか？

(応答) 場合によっては20人を切る可能性もある。

(質疑) 実人数に見合う車両を導入するなどして、できる限り子ども達の安全を確保できないか。細野だと回転する場所がない。子供がいないので菅野まで行くことはないと思う。できるだけ小さい車両でなければならないと思うがいかがか？

(応答) 最終的には運行事業者との調整となる。できる限り小さい車両とできるか、協議したい。

(質疑) 校名について、案2だと都留文科大学附属が消えるイメージであるが？

(応答) 一般的に学校の名称を言う場合に、案2の場合は都留文科大学附属は言われない。略称も、谷一小となる。なお、条例に定める名称(正式名称)では、都留文科大学附属は残る。

(質疑) 附属小を継承という話があったが、説明資料の旗は谷一だが？

(応答) 谷一小のものを継承することを前提とした案としている。附属小の校旗を取り入れる場合、「谷村第一」が無いため、新しく作り直すことになる。

(質疑) 新しく作り直す考えはあるか？

(応答) 皆さんの意見を聞いた中で、統合準備委員会で検討していく。資料では案1の校名ではとしているが、変更もあり得ることを理解いただきたい。

(質疑) スクールバスについて、県道沿いで乗降場所を設定しているが、八幡橋から中小野の方に運行できないか？乗る人数は多いと思われ、安全面でもいいと思う。

(応答) 専門部会で実際に通っている児童を地図に落とし込み、中小野ルートも検討したが、道幅が狭く今の段階で想定される車両での運行は難しいと判断した。

(要望) 小さい車両の使用を検討し、同時にルートについても再考いただきたい。

(質疑) スクールバスについて、行きは乗りたいが帰りは異なる方法で帰らせることは可能か？

(応答) 旭小の例だが、帰りのバスは、教職員がバス停まで付き添い、バスに乗ったことを確認している。混乱のもとになるため、保護者より本日は異なる方法で帰ることをあらかじめ連絡していただきたい。

- (質疑) 今後、2校の子ども達の統合に向けての交流プログラムを教えてください。
- (応答) 今後、具体的に企画したい。この2月3月で両校の先生に協力いただき、企画していく。内容が固まったら、みなさんに示したい。
なるべく多くの交流事業を行い、統合後にスムーズに友情関係が結べるよう対応したい。
- (質疑) 統合に一番ストレスを抱えるのは子ども達。プログラムを話し合っていくとのことだが、大人の視点だけでなく、子どもによる企画などはないのか？企画に子どもが関わっていないのか？プログラムを企画する際は、そのような視点も入れていただきたい。
- (応答) 事業計画の際には、子ども達へのアンケートなど、子どもの声を聴きながら丁寧に対応したい。
- (質疑) バスについて、現状、バスに乗る子は附属小から谷一小に行く子どもだけか。附属小学校区から谷一小に行っている子どもも含めるのか？
- (応答) 附属小学校区内であれば、対象とする。
- (質疑) 休み中のバスの運行はどうか？
- (応答) 既にバスを導入している学校では、長期休業期間中も、フォローアップ事業等の時はスクールバスを運行させている。また、図書室など、期間を定めた中で運行している。
- (質疑) その場合、バス利用について先に連絡をするのか？
- (応答) 準備委員会や学校の先生と協議し、決定していく。現時点では申し上げられないが、子どもや保護者の意向に沿った運行としていきたい。

その後の説明

アンケート用紙に意見をいただきたい。

谷村第一小学校・都留文科大学附属小学校統合に係るアンケート結果

谷一会役員会での統合説明（令和7年12月12日(金)18時から谷村第一小学校会議室）

参加者 8人

（アンケート結果）

1. 統合後の学校の名称、校歌等について

学校の名称は案2 学校の名称がどちらになっても谷村第一小学校校歌を継承する。

2. その他

この後も更に別の学校との統合が近いと思うので、最終的に目指す形になった段階で新しい校名、校歌や校章を決めれば良いと思います。

それまでは一番大きな谷一小の校歌、校章が一番収まりが良いと思います。

将来的に文大附属 宝 谷二 禾二各小学校は統合されるとしたら、谷一 東桂 禾生小学校の校歌を残し、統合された各校の校歌は第二の校歌として残したいです。

小中一貫になる時は新校歌を作るのかと思います。

両校保護者、住民等説明会（令和8年2月17日(火)19時からまちづくり交流センター4階大ホール）

参加者 谷一小学校区12人、附属小学校区19人、計31人

（アンケート結果）

1. スクールバスの運行について

マイクロバス以下のサイズで細かく廻ることが望ましい。

雨、雪の日、暑い日など、バス停まで遠いと大変（負担）
保育園バスのような小回りの利くバスの方が良いと思います。

P6では、安全を優先させた案3がよいと思います。

緑町に居住しています。子どもは谷一小です。朝は割と交通量が多く車のスピードも遠いので、いつも登校する子供を見て危険だなと感じています。

バスの乗車できるエリアが知りたくて、今日参加いたしました。エリア外でしたのでそこらは大丈夫です。ですが、公民館あたりにでも横断歩道を設置してほしいと考えています。関係ない話ですが、どこへ相談すれば良いかわからず、この場を借りて失礼します。

人数的な事を踏まえるとスクールバスのサイズを小さい物にして児童がいる付近までバスが来てくれる方が児童の安全の確保ができると思う。

子供たちが安全に乗れるように、配慮をお願いします。ただ、中小野の中は道が狭く、すれ違えるのが心配です。

どうせ少ない人数なのでマイクロバスやハイエースで離れている家とかは回ってあげて欲しいです。

まだまだ問題点が多いと思いました。

県道だけを通るルートに関しては考え直していただきたい。開地地区はほとんどの児童は県道沿いに家があるわけではなく、人通りの少ない道にあります。そこまで歩いていくのは防犯上、危なすぎる。利用人数も少ないので出来る限り利用者の家の近くを回ってほしい。よろしくお

願います。

最終的には安全面・委託費用を含めた総合判断となると思われるので、権現原団地へのルートも意見にあったが、個人的な意見としてはバスの発着に関しては広く安全が確保されることが望ましいと考える。

バス停まで児童の送迎を保護者が行うなどの協力を仰ぐことも念頭に置き、スクールバスの運行に関しては、実際に利用する附属小学校の児童・保護者の意見を伺った上で運行会社と協議を進めてほしい。

不安や疑問を聞いたうえで、運行会社との協議を行っていかないと利用者側に不振が残ってしまうため、実際にスクールバスを運行している学校と差がないようにしてもらいたい。

まだまだ問題点が多いと思いました。

県道だけを通るルートに関しては考え直していただきたい。開地地区はほとんどの児童は県道沿いに家があるわけではなく、人通りの少ない道にあります。そこまで歩いていくのは防犯上、危なすぎる。利用人数も少ないので、できる限り利用者の家の近くを回ってほしい。よろしく願います。

2. 統合後の学校の名称、校歌等について

案1 都留市立都留文科大学附属谷村第一小学校が理想⇒両方の名称が生きているので

略称は「附一小」が希望

校歌は新しく作ることが望ましいと思います。

統合というよりは、吸収のイメージ 継承ではない

案1、案2 どちらにしても谷一小 校章も校旗も校歌も谷一小

P10 校名については、案2が統合した感があってよいと思います。

P13 校歌については、案2で問題ないと考えます。

学校の名称は案1が望ましいと思う。

校歌に関しては新たに作製して欲しい

校旗に関しても新たに作製して欲しい

校歌は、新しく作ることが望ましいと思います。

校旗を作り直すなら、校章の図柄をうまく合わせて作り直せないのかなと思いました。

案1の方が今と変わらない感じでいいと思います。

特に意見はありません。

学校の統合後の学校の名称、校歌等については、今後の都留市全体の統合構想もあることから、現時点で大きく変える必要はないと考える。

案1に関しては、正式名称が長く児童が記載する際に覚えるのが大変なように思える。

案2に関しては、都留文科大学附属小学校を冒頭に付けることにより、大学の附属小学校としての位置づけをそのまま残すことができる。しかし、「谷村第一小学校」がメインの名称になることから附属小学校の保護者や児童が附属小学校がなくなったという印象を大きく受けるため、附属小学校側の保護者が納得できるよう丁寧に説明する必要がある。

校歌に関しては、案1か案2で名称が決まった際に自然と決まってくると思うので、あえて著

著作権等を理由に大きく議論をする必要がないように思える。(著作権の関係で、案2にしたいというような印象を受けるため)

案1の市立を前にしてください。

統合なので、新たに校歌や校章を作ってください。

子どもに聞いたら案1がいいそうです。理由は、附属小とも谷一小ともどちらでも呼べる名前だからだそうです。案2だと附属が消える感じがするそうです。

何を言っても、校歌は既存のを使うことになるのかなって、思っています。

今から作り直しても統合するまでに間に合う気がしません。もし作り直すならどのくらいでできるかとか説明がないとわかりません。

3. その他

統合後の附属小の活用について、耐震工事等しているため廃校となり全く活用しないのはもったいない。老人、子ども、地域住民、集える場所にして欲しい。子ども食堂とかリフォーム(床、鏡)してダンスできるようにしたり楽器の練習、学びの場とか全国の事例を参考にしてほしい。

未定なものが多く間に合うのかなと

学童保育を残すとのことでしたが、場所や受け入れ学年など(高学年も預かるのかなど)わかり次第お知らせいただきたいです。

あと1年。よい終わり方をしてほしいなと思います。

子供のストレスは行く側もありますが、受け入れる側にもあると思います。子供の気持ちに寄り添って、メンタルケアをしっかりできる体制を作っていただきたいです。

子供達を1番に考えこれからも色々検討していただけたらと思います。

学童に関しては、委託となっているので、今回の審議対象にならないが、附属小学校で運用することが利用者のためになるのか、谷村第一小学校の学童部屋数とスタッフを増やして運用する方が附属小学校側の利用者にとっていいのかアンケート等を取ったうえで検討してもらいたい。

附属小学校までバスを出す人件費と安全性も考えた上で、最終的な判断をしてほしい。

校名プレートは案1がいいです。

子どもの意見は大切にしてもらいたいとは思いますが、校名や校歌を考えるのに時間やお金をかけるより、子どもたちがスムーズに統合に適應できるようにすることに時間やお金を割いていただきたいなと思います。よろしくお願いします。

子供たちは日々、不安がってます。

それは、いろんなことがなかなか決まらず、保護者や地域には説明してて、統合する本人たちには何にも説明がないからです。谷村第一小学校の子との交流、今年度はなぜ実施しなかったのか疑問でした。

子供たちにも保護者に説明したのをすべきです。

全体的に全然決まってないなあって言う印象でした。

間に合うんでしょうか。